

ボランティアを通して分かったこと

長崎県立豊玉高等学校

一年 土脇 礼睦

私は、海洋ごみ清掃などのボランティアを行っています。その体験を通して分かったことが三つあります。

一つ目は、他者と協力することの素晴らしさです。ごみ捨てをしていると、一人では大変という状況になることがあるのですが、そんな時は自然と他の人が来て手伝ってくれます。

このようなことを経験すると、助け合いによって人との関係は結ばれていくのだと感じます。他の場面でも大きなことを行うときにはさすが集まり、みんなで助け合うことがあります。やり遂げた後は笑顔になってハイタッチをする人もいます。私も周りの人たちと協力して、みんなが元気になれるような行動を行っています。

二つ目は、ボランティアで地域の高齢者を支えることができることです。少子高齢化が

進んでいる今、私の町もほとんどの住民が高
齢者です。そこで高齢者の方にとってきつ
て大変な作業を若い私たちが代わりにボラ
ンティアで行い、地域福祉の一環として高
齢者を助けていくのです。このような関係が築
けるように、若い人たちに福祉のことを伝
えていきたいです。

三つめは、自分を助けてくれる人などいな
いと思っではいけないということです。人は
自分の居場所がない、自分は何もできない、

と思うことがあります。しかし、そんなこと
はありません。私はボランティア活動中に周
りの人に支えられ、それを素晴らしいと思
い、自分もその方々の役に立ちたいと思い
ました。つまり自分が誰かのために行動する
ことで自分も誰かから支えてもらえるとい
うことです。この助け合いの精神は本当に
素晴らしいと思います。今、自分を助けて
くれる人などいない、と思っ
ている人は、まず自分が誰か
のために行動してみると良いと思います。

ボランティア活動は他者を支えられる人生の第一歩です。相手が自分を支え、自分も相手を支える、そのことで協力関係ができ、お互いの福祉が成り立つのです。